

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第11週の発生動向

全数報告の感染症 (11週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。3類感染症：報告なし。
- 4類感染症：つつが虫病1例。
- 5類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、後天性免疫不全症候群1例、破傷風1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・病名	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	女	肺結核	咳、痰
			80歳代	女	肺結核及び結核性胸膜炎	発熱
		日向	30歳代	女	無症状病原体保有者	—
4類	つつが虫病	都城	60歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹
5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	宮崎市	30歳代	女	—	ショック、DIC、全身性紅斑性発疹、中枢神経症状 血清群:A群
	後天性免疫不全症候群	宮崎市	20歳代	男	無症候性キャリア	—
	破傷風	宮崎市	80歳代	男	—	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、発語障害、 強直性痙攣、呼吸困難(痙攣性) ワクチン接種歴:不明

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1,552人(定点当たり34.2)で、前週比87%と減少した。前週に比べ増加した主な疾患は手足口病で、減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

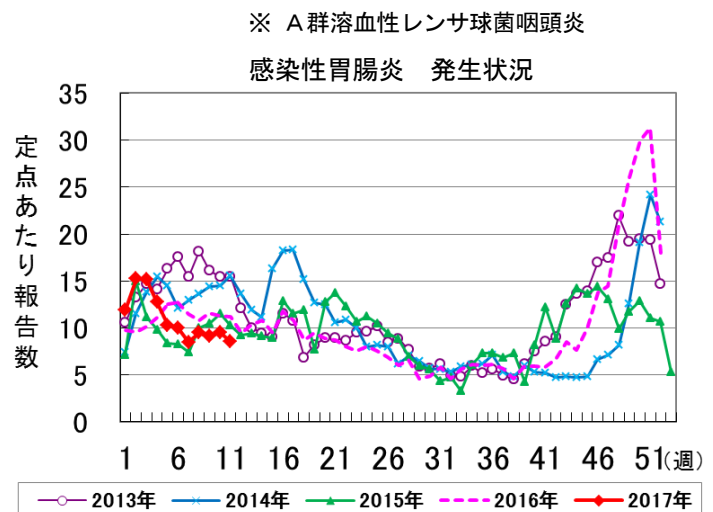
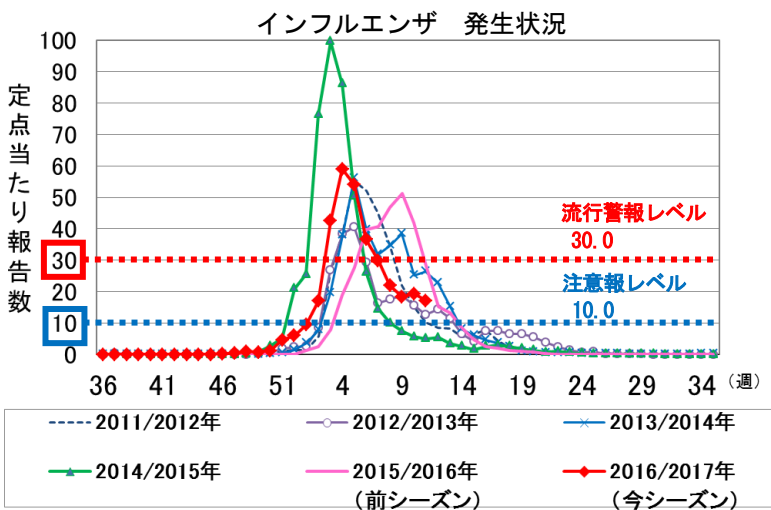
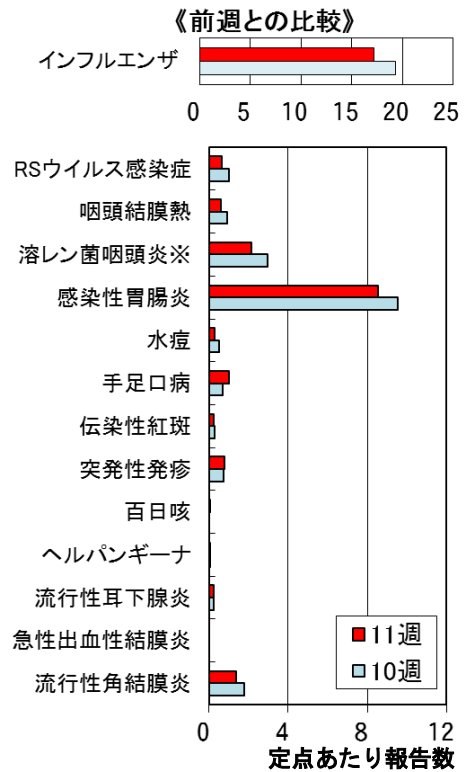
【インフルエンザ】

報告数は1,013人(17.2)で、前週比89%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(16.8)の約1.0倍であった。日南(24.8)、小林(22.8)、延岡(20.9)保健所からの報告が多く、年齢別は5~9歳が全体の約3割を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は308人(8.6)で、前週比90%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(12.0)の約0.7倍であった。日向(19.5)、小林(15.3)、日南(9.0)保健所からの報告が多く、年齢別は1~3歳が全体の約4割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



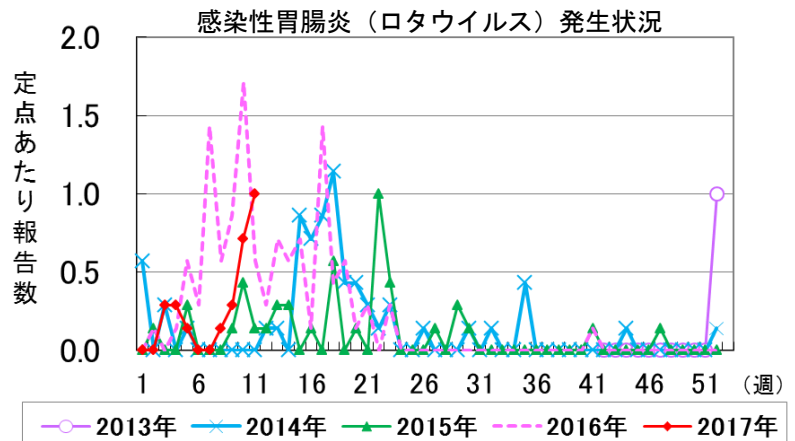
★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎（ロタウイルス）：
日向（6例）、高鍋（1例）保健所から報告があった。0～4歳が6例、10歳代が1例で病原体の群別は不明であった。

★保健所別

流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(15.8)
都城	インフルエンザ(17.5)
延岡	インフルエンザ(20.9)
日南	インフルエンザ(24.8)
小林	インフルエンザ(22.8)
高鍋	なし
高千穂	インフルエンザ(11.5)
日向	インフルエンザ(17.2)
中央	インフルエンザ(16.0)



* 流行注意報レベル基準値*
・インフルエンザ(10.0)

🇯🇵 全国 2017 年第 10 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 10 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	288 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	10 例	パラチフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	6 例	A型肝炎	9 例	エキノкокクス症	1 例
	オウム病	1 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例	デング熱	1 例
5類感染症	日本紅斑熱	1 例	レジオネラ症	13 例		
	アメーバ赤痢	11 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	9 例
	急性脳炎	8 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5 例	後天性免疫不全症候群	24 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	42 例	水痘（入院例）	7 例
	梅毒	62 例	播種性クリプトкокクス症	1 例	風しん	3 例
	麻しん	7 例				

麻しんの報告数は7例で前週比約1.8倍と増加した。広島県(3例)、山形県、山梨県、京都府(各1例)、九州地方は福岡県(1例)から報告があった。年齢別では30歳代が3例、10歳未満が2例、20歳代及び40歳代が各1例ずつであった。

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比92%と減少した。前週と比較して増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と流行性耳下腺炎、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

インフルエンザの報告数は55,004人(11.1)で前週比82%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(17.7)の約0.6倍であった。沖縄県(21.9)、福島県(20.7)、石川県(19.5)からの報告が多く、年齢別では5～9歳が全体の約3割を占めた。

流行性耳下腺炎の報告数は2,050人(0.65)で前週比107%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.41)の約1.6倍であった。愛媛県(3.0)、山口県(2.3)、長野県(2.2)からの報告が多く、年齢別では4～6歳が全体の約半数を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2017年 第11週(3月13日～3月19日)

疾病名		第10週	第11週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1142	1013	253	175	146	124	114	43	23	103	32
	定点あたり	19.36	17.17	15.81	17.50	20.86	24.80	22.80	7.17	11.50	17.17	16.00
RSウイルス 感染症	報告数	36	23	6	6	3			6		2	
	定点あたり	1.00	0.64	0.60	1.00	0.75	0.00	0.00	1.50	0.00	0.50	0.00
咽頭結膜熱	報告数	34	22	6	3	2	8		1		2	
	定点あたり	0.94	0.61	0.60	0.50	0.50	2.67	0.00	0.25	0.00	0.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	107	77	39	3	6	13	1	8		1	6
	定点あたり	2.97	2.14	3.90	0.50	1.50	4.33	0.33	2.00	0.00	0.25	6.00
感染性胃腸炎	報告数	343	308	60	49	23	27	46	13	8	78	4
	定点あたり	9.53	8.56	6.00	8.17	5.75	9.00	15.33	3.25	8.00	19.50	4.00
水痘	報告数	19	10	2	1			3	2		2	
	定点あたり	0.53	0.28	0.20	0.17	0.00	0.00	1.00	0.50	0.00	0.50	0.00
手足口病	報告数	25	37	20	9		1	2	3		1	1
	定点あたり	0.69	1.03	2.00	1.50	0.00	0.33	0.67	0.75	0.00	0.25	1.00
伝染性紅斑	報告数	11	8	3			1		1		3	
	定点あたり	0.31	0.22	0.30	0.00	0.00	0.33	0.00	0.25	0.00	0.75	0.00
突発性発しん	報告数	27	28	9	5	3		4	2		4	1
	定点あたり	0.75	0.78	0.90	0.83	0.75	0.00	1.33	0.50	0.00	1.00	1.00
百日咳	報告数		1								1	
	定点あたり	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	3	2			2						
	定点あたり	0.08	0.06	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	9	9	2	2	3			2			
	定点あたり	0.25	0.25	0.20	0.33	0.75	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	9	7	6	1							
	定点あたり	1.80	1.40	3.00	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	5	7						1		6	
	定点あたり	0.71	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		6.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:5、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2017年第1週～11週)

2類感染症	結核	52例(3)				
4類感染症	E型肝炎	1例	つつが虫病	6例(1)	レジオネラ症	1例
	急性脳炎	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例(1)	後天性免疫不全症候群	2例(1)
5類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	8例	梅毒	3例
	破傷風	1例(1)				

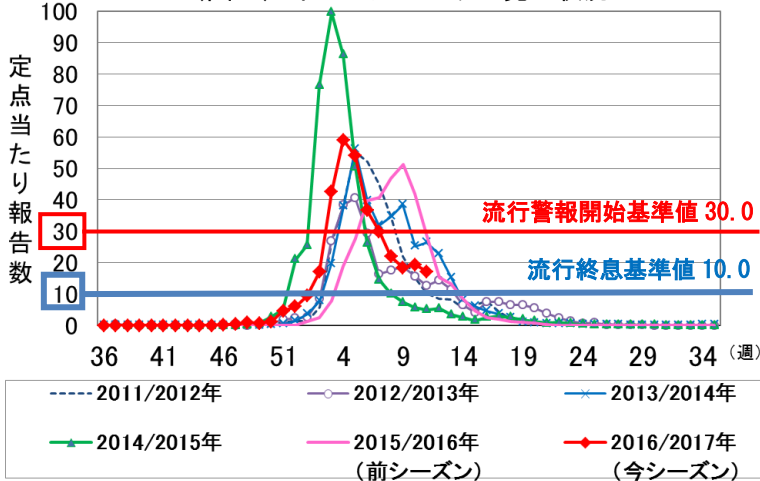
()内は今週届出分、再掲

インフルエンザ情報《県内第11週、全国第10週（再掲）》

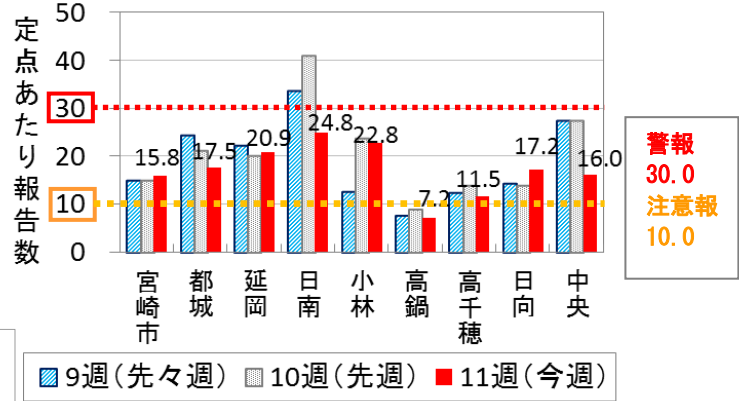
□ 県内第11週インフルエンザ発生動向

2017年3月13日～3月19日までの1週間で1,013人（定点あたり17.2）の報告があった。前週の約0.9倍と減少し、例年同時期の定点あたり平均値*（16.8）の約1.0倍であった（図1）。保健所別推移を図2に示す。年齢群別では5歳未満が全体の21%、5-9歳が32%、10-14歳が17%、15-19歳が5%、20-59歳が17%、60歳以上が8%を占めた。（図3）

（図1）インフルエンザ発生状況



（図2）インフルエンザ保健所別推移（3週分）

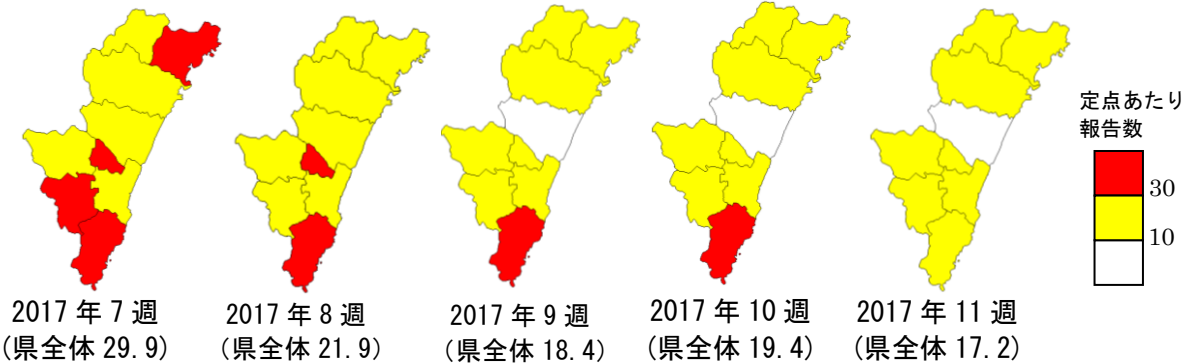


（図3）年齢群別割合の推移（2017年第7週～第11週）

週	7週	8週	9週	10週	11週
1,761人	25%	27%	15%	5%	19%
1,293人	23%	29%	17%	4%	20%
1,087人	25%	28%	16%	3%	19%
1,142人	24%	31%	16%	5%	18%
1,013人	21%	32%	17%	5%	17%

5歳未満
 5～9歳
 10～14歳
 15～19歳
 20～59歳
 60歳以上

保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2017年第7週～第11週



□ 全国第10週インフルエンザ発生動向

2017年3月6日～3月12日までの1週間で55,004人（11.1）で前週比82%と減少した。沖縄県（21.9）、福島県（20.7）、石川県（19.5）からの報告が多い。年齢別では5歳未満が全体の20%、5-9歳が30%、10-14歳が17%、15-19歳が5%、20-59歳が20%、60歳以上が8%であった。